

「通訳案内士」の詳細については  
こちらからご確認ください。



世界と  
つなぐ力。

インバウンドの  
最前線で活躍する



# 全国 地域 通訳案内士



発行：2026年3月4日

# 観光を通して、 世界と日本を つなぐプロ



— インバウンドの最前線で活躍する通訳案内士 —

## 観光の現状と 通訳案内士の必要性

2025年の訪日外国人観光客（インバウンド）は約4,268万人と前年比15.8%増、消費額は9兆4,559億円で前年比16.4%増と過去最高を記録しました。

**インバウンド**  
約4,200万人を突破

※出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

**消費額**  
約9兆4,000億円超

※出典：国土交通省観光庁「インバウンド消費動向調査」

一方で、インバウンドの増加に伴い、観光地を有する地域と外国人観光客の間では異文化理解の不足に起因したトラブルが生じるなど、課題も生じています。

また、多様化するインバウンドのニーズに対応するため、地域側においては、受入れ体制の整備という観点も重要です。

インバウンドの快適で充実した訪日滞在を支える存在として、通訳案内士が日々活躍しています。言語の壁を越え、観光案内を通して日本ならではの文化や風習なども伝えられる、インバウンドと地域を繋ぐ重要な存在です。

## 通訳案内士とは

日本を訪れた外国人が、観光地の魅力や日本の文化について知りたいと感じたとき、その案内役となるのがガイドです。

歴史や文化、その土地ならではの背景を分かりやすく伝えることで、インバウンドの日本での体験をより深いものにします。

ガイドとして働くことは誰でもできることですが、その中でも通訳案内士は、語学力や観光に関する知識を備えた資格者として認められた存在です。現場に立ち、外国人旅行者と日本をつなぐ役割を担い、日本の観光産業を支えています。

## 有資格のプロ通訳ガイド

「通訳案内士」という名称は、「全国通訳案内士」あるいは「地域通訳案内士」の資格を取得した方だけが使用することができます。

彼らは、外国人に日本全国または特定の地域の歴史や地理、文化などを紹介する専門家です。語学力はもちろん、歴史や文化の知識、おもてなしの心で、日本の多様な魅力を伝えます。

インバウンドに日本の良い印象を持ち帰ってもらうことは、国際親善の一翼を担う面もあり「民間外交官」などとも呼ばれています。

## 全国通訳案内士

### 日本全国の幅広い知識

全国通訳案内士は、通訳案内士法において「報酬を得て、通訳案内（外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をすることをいう。）を業とする。」と定められています。

高い語学力に加え、日本全国の地理、歴史、文化などの幅広い知識とホスピタリティを持ちます。変化するインバウンドのニーズに対応するため、資格取得以降も定期的な研修受講が義務づけられており、また日々の自己研鑽により、常に知識と価値観のアップデートに努力しています。

### 難関の国家資格

年に一度実施される国家試験に合格し、居住する都道府県の登録を受けることで全国通訳案内士となります。

2025年度の全語学（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語）の受験者は3,987名で合格者は585名。全語学総計で合格者は14.7%という難関資格としても有名です。

### 全国通訳案内士データ

●言語別  
延登録者数 **27,950人**

※2025年4月1日現在、日本政府観光局（JNTO）より

●中国地方の  
登録者数 **845人**

※出典：国土交通省観光庁「ガイド人材の活性化に係る調査検討会 中間取りまとめ」

#### ●居住地（TOP5）

関東 **56.9%**  
近畿 **19.6%**  
中部 **6.2%**  
九州 **4.0%**  
中国 **3.5%**

#### ●活動地域（TOP5）

関東 **41.8%**  
近畿 **27.6%**  
中部 **15.6%**  
中国 **15.3%**  
北陸信越 **13.5%**

※出典：国土交通省観光庁「ガイド人材の活性化に係る調査検討会 通訳案内士に対するアンケート調査」

## 地域通訳案内士

### 特定の地域への深い知識

地域通訳案内士は、通訳案内士法において「その資格を得た第五十四条第二項第一号に規定する地域通訳案内士業務区域において、報酬を得て、通訳案内を行うことを業とする。」と定められています。

通訳案内の実務やコミュニケーションスキル等に加え、地域固有の歴史・地理・文化・自然などの知識を有する存在です。インバウンドの地方への訪問意向が年々強まる中で、多様化するニーズに対応する存在として活躍しています。

### 地域毎に開催される 研修プログラム

地方公共団体が実施する研修プログラムに参加し、地域の歴史、地理、文化、自然等の知識を習得します。研修受講を通じて登録を受けることで「地域通訳案内士」となります。地域毎に研修の頻度や内容は異なります。

### 地域通訳案内士データ

●全国での  
育成人数 **4,031人**

※出典：国土交通省観光庁「地域通訳案内士導入地域」

●中国地方の  
登録者数 **608人**

※出典：国土交通省観光庁「地域通訳案内士導入地域」

#### ●居住地（TOP5）

広島県 **11.3%**  
沖縄県 **8.6%**  
福島県 **8.4%**  
東京都 **7.2%**  
鹿児島県 **5.7%**

#### ●活動地域（TOP5）

中国 **18.3%**  
関東 **16.4%**  
九州 **14.8%**  
近畿 **11.1%**  
東北 **8.8%**

※出典：国土交通省観光庁「ガイド人材の活性化に係る調査検討会 通訳案内士に対するアンケート調査」

# 通訳案内士の資格は、“能力”の証です。



私も通訳案内士は国家試験に合格し、都道府県の登録を受けた「全国通訳案内士」と特定地域が行う試験に合格し、登録を受けた「地域通訳案内士」の2種類がありますが、どちらも通訳案内士法に基づく資格です。2018年の法改正により、このどちらかの資格がなくても報酬を得て通訳ガイドができるようになりました。このような中、有資格者は単なる肩書を得たのではなく、語学力の先にある国際感覚やおもてなし力、日本文化の理解度、ツアーのマネジメント能力なども、日々のガイド業務を通して磨いています。

**Profile**  
 畷崎 雅子さん Unezaki Masako

- 一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA) 会長
- 全国通訳案内士 (英語) ● 宮島観光大使
- 一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会  
 1992年設立された全国通訳案内士で構成する団体。  
 2018年に一般社団法人に移行。

## 語学ができるだけでなく、文化面への配慮ができる人材。

私が会長を務めております一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会 (HIGA) では、30年以上蓄積してきた知見を定期的な講習会、仲間同士の勉強会などを通して継承しており、「最新の異文化理解」や「深いホスピタリティ」といった「まだ一般には知られていない国際感覚」の習得の場となっています。例えば環境問題についても、外国の方々へのガイドを通じて、かなり前から重要な問題だと理解していました。また宗教や食をはじめ、外国の方々へ敬意を表す方法も私たちは理解を進めています。ある文化圏では、お刺身が喜ばれない場合があること。夏でも氷入りの冷たい飲み物を避ける傾向にあることなど、より豊かなコミュニケーションに必要な配慮が行える人材となるよう努力しています。異文化の摩擦を不用意に起こさないよう心掛けています。



## 多彩な人材が集まる有資格集団ともいえます。

通訳案内士には、さまざまな専門性や個性を有した方々が活躍されています。通訳案内士に必要なとされる能力に、個人が持つ能力が掛け合わされれば、観光や貿易の分野をはじめ、多くの企業のみならずと連携できる人材だと思います。ぜひ、私も「通訳案内士」を知っていただき、各企業と世界との接点になれば幸いですと考えております。

# インバウンド対応の現場で活躍する即戦力

訪日観光の最前線で活躍する通訳案内士。インバウンド向けの観光ガイドとして、日々の現場で培ったインバウンドの嗜好やニーズについての知見を生かし、活躍のフィールドを広げている方がいます。通訳案内士の語学だけにとどまらない質の高いホスピタリティやマネジメント能力は海外ゲストの日本への印象に大きく関わり、双方の異文化理解を支える存在として、通訳案内士の活躍の場はこれからもまだまだ拡大していくことでしょう。

国際的な  
 経験力を生かして。



**マックフェル 萌野さん**  
 これまで多くの国や文化に触れてきた経験は各種通訳や接遇の場で、相手の背景を考慮した対応、ゲストの表情や仕草に秘められた想いをくみ取るおもてなしに生かされています。

05  
 ページへ

定年後も  
 学び続ける力。



**足立 俊さん**  
 定年まで勤務していた職場では、英語や通訳案内士とは無縁でした。退職をきっかけに好きだった英語を学び直し始めたのです。

05  
 ページへ

地元だからこそ  
 できるおもてなし。



**フィリップ 萌さん**  
 観光地はもちろん、常に地元のごとくにアンテナを張っています。英語の歌が多いカラオケの案内もできますよ。

06  
 ページへ

世界的な視点を  
 いち早くキャッチ。



**石飛 千恵さん**  
 人と話をするのは好きで、海外ゲストとの会話から新たな視点に気づく楽しさを感じています。

07  
 ページへ

地域の魅力、  
 発見する力。



**三原 りえさん**  
 通訳案内士の仕事は一期一会。「下関に来てよかった」とポジティブな気持ちになっていただくサポート役です。

07  
 ページへ

相手を  
 思いやる力。



**中野 雅弘さん**  
 通訳案内士をしていて感じるのは、「言葉の仕事」だけではないということです。して欲しいこと、嫌なことをいち早く察する「察知する仕事」だと感じています。

08  
 ページへ

異文化体験が  
 信頼構築力に。



**矢野 静香さん**  
 日本の文化と中国の文化、両方持っている強みを活かして、地域や企業にもっと貢献したいですね。

09  
 ページへ



**山下 利恵さん**  
 生まれも育ちも広島の私にとって、広島のことを自分の言葉で伝えられる地域通訳案内士は最適な仕事です。

09  
 ページへ

地元愛とともに、  
 仕事ができる。



**Profile**  
マックフェル 萌野さん Mcphail Moano

- 山陰地域限定特例通訳案内士(英語)
- インバウンド旅行コーディネーター
- インバウンド関連セミナー講師
- 国内旅行業務取扱管理者
- 英会話教室経営

## 「通訳」「案内」を越えて 異文化相互理解と 関係性構築の架け橋に。

学生時代から添乗員として旅行業に携わり、旅行会社勤務、米国クルーズ客船での業務を経て島根県にUターンしました。現在は通訳案内士として観光やビジネス、多様な目的で日本を訪れる方々のご案内を行っています。これまで多くの国や文化に触れてきた経験は各種通訳や接遇の場で、相手の背景を考慮した対応、ゲストの表情や仕草に秘められた想いをくみ取るおもてなしに生かされています。私が大切にしているのは、単に英語を用いて案内することではなく、ゲストに「地域や人と繋がれた」「理解が深まった」と感じていただけるような感動的な出逢いや体験です。通訳案内士の存在があるが故に成立するコミュニケーションを通し、訪問先とゲストを繋ぐ役割を担っています。企業訪問や商談通訳の前後でガイドとして観光地へご案内をすることもありますし、近年は官民を問わず、英会話含めインバウンド受入関連の講座の依頼も増え、講師としても事業者の皆さまと連携しています。日頃からゲストの1番身近な所にいる通訳案内士だからこそ培ってきた知識と経験を様々な場面で活用いただければ幸いです。



**Profile**  
フィリップ 萌さん Philip Moe

- 広島県地域通訳案内士(英語)
- 観光コーディネーター
- ネットファム(株)在職

## 私たちの経験や知識が 商品開発のヒントに。

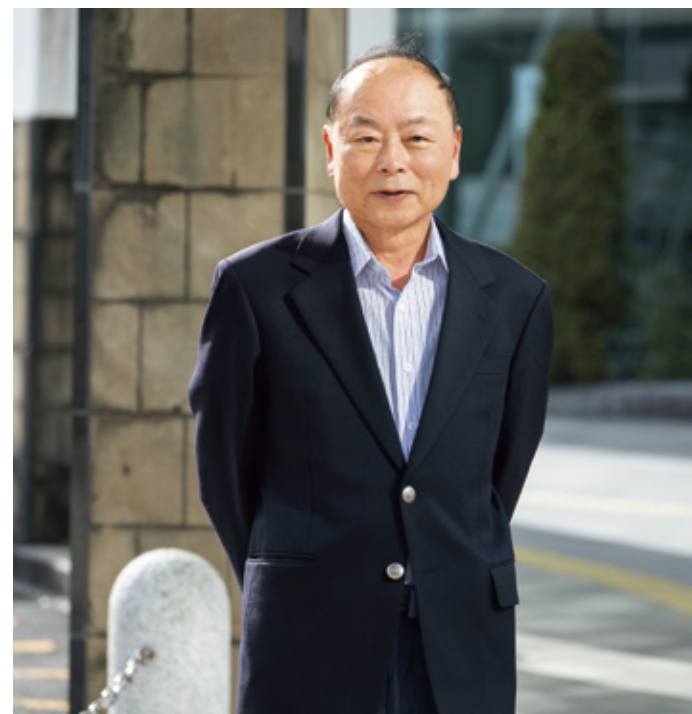
海外留学の経験があり、外国の友だちが広島に来ると、観光案内をしていんです。「これを職業にしたら面白そう」と思い、英語を使う仕事にチャレンジしようと、通訳案内士を目指しました。この仕事は調べが8割だと思います。観光地はもちろん、常に地元のことにアンテナを張っています。英語の歌が多いカラオケの案内もできますよ。100円ショップやスーパーにもお連れします。ミシュランの星つき店のシェフを案内した時は、知り合いのつてをたどって、串うちなど焼き鳥のプチ修行もさせてもらいました。英語でガイドをしていると、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど全世界といっていいほど多くの国のみなさんと接します。日本では普通のことで国によって、宗教や食文化、動物福祉の捉え方には差があること、また包装のエコ化など環境への配慮についても重要な知識と



なっています。例えば、広島のお好み焼きはエンターテイメントとして楽しめるので、その人気を受けて体験プログラムをつくりました。「こうした知識や体験は、新サービスや商品開発に役立つ!」と実感しています。

## 退職を機会にチャレンジ。 仕事に恵まれるチャンス。

大学時代、先輩にすすめられ通訳案内士の国家資格を受けたのですが、ダメでした。卒業後、島根・鳥取エリアを中心とした放送局に勤務していましたが、そこでは英語や通訳案内士とは無縁でした。それが退職をきっかけに好きだった英語を学び直し始めたのです。TOEICや英検を受験するようになった頃、TOEICのスコアが認定され筆記試験が免除になりました。スコアはクリアしていたので、スイッチが入り、地理と歴史を猛勉強。1回目の受験で合格することができました。資格があれば「仕事に恵まれるかな」くらいの気持ちでしたが、資格を持っている人、地元の方が優先されるようで、忙しくなりましたね。クルーズ船のお客さまがメインで、山陰、四国、関西などを通訳ガイドすることが多いですね。放送局に勤務していたときいろんな方を取材しました。そんなエピソードもガイドに役立っています。また英語の歌を歌うなど、お客さまを楽しませることを心がけています。腕前はともかく拍手をいただけるので、盛り上がるんです。今後の目標は「もっと英語がうまくなりたい」ですね。イギリス英語も学びたいです。



**Profile**  
足立 俊さん Adachi Shun

- 全国通訳案内士(英語)

## Column

### 活躍のフィールド拡大中

通訳案内士の資格を持っているということで紹介され、自治体の観光プロモーションや日本酒の輸出などを行う会社でも働いています。商談の通訳も行いますが、メールのやり取りや報告書作成などの事務作業も担当。事務作業はガイド業務の合間に行っています。好奇心が旺盛なので、日本酒に興味をわき、今では通訳案内士の仕事にも生かしています。





**Profile**  
石飛 千恵さん Ishitobi Chie

- 全国通訳案内士(英語)
- 山陰地域限定特別通訳案内士
- 日英・英日技術翻訳者

## 日米の技術系企業にいた異色の全国通訳案内士。

20年以上前ですが、島根に来る前はアメリカで4年、日本で6年、宇宙産業に関わる企業でエンジニアをしていました。この業界は離れましたが、移住後も技術分野での英語の橋渡しをしたいと思います、技術翻訳の仕事が続いています。在宅の仕事なので、「たまには外に出たいな」と思ったことをきっかけに山陰の地域通訳案内士になりました。人前での説明は苦手ですが人と話するのは好きで、海外ゲストとの会話から新たな視点に気づく楽しさを感じています。全国通訳案内士の資格は「もっと可能性が広がるかな」と思い取得しました。通訳ガイドの仕事は、海外ゲストと地域を繋ぐ仕事だと思っています。前職ではユーザーサポートやプロジェクト管理をしていましたが、そこで培った調整力や現場での対応力は、通訳ガイドの仕事にも生かせると感じています。このように異なる業界・業種であっても様々な経験が役立つのが通訳案内士の仕事だと思っています。もっと多くの方にガイドになっていただき、一緒に海外と地域や企業の橋渡しをしていきたいですね。



このように異なる業界・業種であっても様々な経験が役立つのが通訳案内士の仕事だと思っています。もっと多くの方にガイドになっていただき、一緒に海外と地域や企業の橋渡しをしていきたいですね。

## イタリア語と英語の全国通訳案内士を同時取得。

大好きなサッカー選手が来日したので、イタリア語でお願いすれば写真を一緒に撮ってくれるかなと考え、勉強したのが始まりです。もともと大学時代から観光に興味があったので英語も学び続けていました。通訳ガイドの道に進んだのは9年前。脳梗塞を患いリハビリをしている時でした。「イタリア語のガイドという道もあるんじゃない」とすすめられ「歩けるようになったら手伝います」みたいな軽い感じで、アシスタントから始めました。そこからくじけそうになりながら、全国通訳案内士の資格を取りました。中国地方でイタリア語の取得者は少ないので、広島だけでなく県外のお仕事をいただくこともあります。その分、下見などは大変ですが、準備はしっかり行います。通訳案内士をしていて感じるのは、「言葉の仕事」だけではないということです。して欲しいこと、嫌なことをいち早く察する「察知する仕事」だと感じています。そういった面でも企業と企業の潤滑油となれるのが、私たち通訳案内士だと思います。好奇心は旺盛ですので、新しいことに挑戦してみたいですね。



**Profile**  
中野 雅弘さん Nakano Masahiro

- 全国通訳案内士(イタリア語・英語)
- 広島県地域通訳案内士(英語)
- 国内旅程管理主任者



## 下関を盛り上げたいアメリカ育ちの通訳案内士。

父の仕事の関係で渡米し、30年弱海外で生活していました。アメリカとスイスの大学で音楽を学び、多彩な経験を重ねた後、父が故郷の下関に戻ったこともあり、こちらで暮らしています。現在は英語を教えたり、コンサートなどのイベント企画、ワインバー経営など、マルチに活動しています。私は以前から、英語を使って下関の素晴らしさを伝えたいと思っており、その第一歩として地域通訳案内士を取りました。下関には魅力がたくさんあるので、ガイドするのに1日では足りません。1週間くらい滞在していただき、長門、萩、岩国なども紹介できるようになったらとてもうれしいです。特に関門海峡や関門橋は私のおすすめスポット。歩いて門司まで渡れるのでウォーキングを海外ゲストとしたいですね。下関の素晴らしさを伝えるとともに、自然・歴史・文化など地域のポテンシャルを引き出したいと思います。通訳案内士の仕事は一期一会。「下関に来てよかった」とポジティブな気持ちになっていただくサポート役です。下見や事前準備をしっかり行い、海外ゲストとの一生に一度の出会いにベストを尽くします。そして農園付きゲストハウスの運営という夢を実現させたいです。



**Profile**  
三原 りえさん Mihara Rie

- 山口県地域通訳案内士(英語)
- 英語インストラクター
- ホルン奏者活動
- ワインバーの経営など



### Column

#### 自由度の高い通訳案内士の仕事

通訳案内士には1日8時間の仕事もあれば、観光地1か所だけという依頼もあります。1か所だけだと2時間程度で終わることもあるため、子育て中の方や、副業などでも活躍できます。またリタイア後であれば、自身の都合に合わせて調整するなど、働き方の自由度が高い仕事です。



### Column

#### 国際的なつながりが生まれる

平和公園では泣いて、宮島では笑って、という風に、8時間も案内をしていると、全く知らなかった人たちとも心が通います。中には「君は友だちだ」と言っていたことも。そんな時は嬉しいですね。





**Profile**  
矢野 静香さん Yano Suzuka

- 山陰地域限定特例通訳案内士(中国語)
- 工場通訳

## 日本と中国で体験した2つの文化のつなぎ役。

中国出身で、島根に来て20年くらい経ちます。通訳案内士を取得しようと思ったのは、島根に遊びに来た友だちを観光案内したのがきっかけです。島根の自然や食べ物、温泉に喜んだり、驚いたりしている姿を見て、山陰の良さをもっと伝えたいと思いました。現在、通訳案内士は仕事の2割くらい。工場で働く外国人への通訳が5割くらいです。この仕事に就くのも大変でした。何度も面接があり、私より優秀な方もいましたが途中で断念されました。でも私はあきらめません。勉強してチャレンジして、もっとチャンスをつかみたいと思っています。工場ではただ通訳するだけではありません。私は高専5年生の息子と高校3年生の娘を日本で産み育てています。日本の文化や習慣に苦労した実体験があります。それが私の強みとなり、他の方にはできないアドバイスができます。ちゃんと並ぼう、手を洗おうといったことから教えます。工場はチームワーク。文化や習慣を理解



することで周りや馴染め、コミュニケーションも取れるようになります。そうすると仕事もスムーズに進み、楽しくなりますよ。日本の文化と中国の文化、両方持っている強みを活かして、地域や企業にもっと貢献したいですね。

## 幸せを感じる資格。キャリアアップにも役立つ。

子どもの頃から英語が好きだった私は、子育てが一段落した頃、英語を使った仕事がしたいと思いホテルに就職しました。しかし、思っていたほど英語を使う機会がありませんでした。そんな時、広島県地域通訳案内士の育成募集を見つけ、研修を重ねた末、合格することができました。そして、自分の可能性をさらに広げたいと思い、海外のお客様とより多く関わることができるつばめ交通に転職しました。地域のことは地元ガイドに案内してほしいというリクエストが多く、生まれも育ちも広島の私にとって、広島のことを自分の言葉で伝えられる地域通訳案内士は最適な仕事です。お客様の国によって思いや考え方はさまざま、日々多くの学びがあります。喜んでいただけることに幸せを感じながら、一期一会の出会いを大切にしています。また私は、8月6日の原爆投下の現実を目の当たりにした被爆体験者の思いを受け継ぐ「被爆体験伝承者」でもあります。私が伝承を担当している方は現在94歳です。被爆体験の通訳サポートをした際には、実際の体験者の言葉に多くの方が涙を流されていました。ガイドをする際も、平和への強い思いと、必死に生き抜いてこられた経験を織り交ぜながらお伝えしています。このように世界に向けて発信できる、やりがいのある仕事を担当させていただける会社に感謝しています。「ひとりでも多くの人に広島を好きになっていただき、世界平和に貢献する」というつばめ交通のミッションを胸に、これからも笑顔で頑張ります。



**Profile**  
山下 利恵さん Yamashita Rie

- つばめ交通株式会社 営業部主任
- 広島県地域通訳案内士(英語)
- 被爆体験伝承者



**Profile**  
佐々木 義則さん Sasaki Yoshinori

- つばめ交通株式会社 取締役営業本部長
- お客様満足係 兼 お客様創造係

## 意外と進んでいないインバウンド対応。

広島市では、平和関連の行事や国際会議が開催される機会が多く、弊社の英語対応ハイヤーをご利用いただくことも少なくありません。そうした背景もあり、母国語が英語の社員を採用し、運転手向けの英会話教室を開催するなど、海外からのお客様への対応を進めてきました。また、旅行や観光プランの提案に加え、富裕層向けのクルーズ船を2隻運航するなど、海外ゲストにもご満足いただける環境を整えています。さらに、タイやベトナム、台湾へ直接営業に赴くなど、積極的にインバウンドを受け入れている企業と言えるでしょう。一方で、旅行会社や航空会社、ホテルなどを除くと、特に中国地方において、弊社のように地元根ざした企業がインバウンド対応に取り組む余地は他にも十分にあるのではないかと考えています。実際、春や秋の繁忙期には、英語対応に関して1日100件から200件ほど、国内外からの問い合わせが寄せられています。

## すぐにできるインバウンド対応。

弊社はタクシー事業を主軸としているため、人の温もりを感じられるサービスを大切にしています。その根底には地元愛があり、運転手やガイドの対応が、単なる機械的な通訳を超えている点も特徴です。現在、英語対応ができる人材の育成にも取り組んでいますが、初心者の場合、2～3年は必要でしょう。しかし、新規採用や契約という視点に切り替えれば、明日からでも始められる、地元愛あふれるインバウンド対応として、通訳案内士さんの活用は非常に有効だと考えています。弊社でも入社後に通訳案内士の資格を取得して頂き、英語メールへの対応、ハイヤーへの同乗、平和公園でのガイド、新サービスの提案などさまざまな分野で活躍していただいております。今後も国際化の波と共に、更に通訳案内士さんの活躍の場は着実に広がることは間違いのないでしょう。

## 地元らしいおもてなしは、社会貢献と言えます。

地元らしいおもてなしは、どの地域でも実践できるものだと思います。それを通じて、海外から訪れる皆さまに喜んでいただき、記憶に残る訪問のお手伝いをするには、まさに社会貢献と言えるのではないのでしょうか。それは企業の価値向上にもつながります。今後ますます需要が高まるインバウンド対応において、地域に求められる企業となるために、私たちも共に取り組んでいきたいと考えています。



### つばめ交通 株式会社

戦後復興期の1951年に広島市で創業。タクシーから始まった事業は、ハイヤー、バス、レンタカー事業から旅行&観光サービス、英語対応、クルーズなどの事業へと広がる。「安全に、快適に、迅速に、正確に」をモットーに、仕事を通して「多くの人に広島を好きになっていただき、世界平和に貢献すること」を目指している企業です。

